

第9号

緑高 SSIH

緑のスタディ
ツアー紹介号



2023年10月20日

ふくしま「学宿」(7月20日～22日)

7月20日～22日の3日間、13名の生徒が福島県の浜通り地域の被災地を訪れました。初日は東日本大震災・原子力災害伝承館を見学したり、旧請戸小学校などの浪江町フィールドワークへ行ったり、復興に携わる方々の話を伺いました。2日目は、終日にわたり福島県立ふたば未来学園高校の社会起業部の皆さんと一緒に双葉町フィールドワークを行い、福島ロボットテストフィールドを訪れました。ふたば未来学園高校に戻った後は班に分かれて意見交換をしました。3日目は、葛尾村を訪れて、地域おこしや地域のエネルギーについての話を伺い、まとめのワークショップを行いました。「見て」「歩き」「聞き」「対話」をして、そこから「考える」3日間でした。



海・星・砂のスタディツアー@鳥取(7月24日～26日)



7月24日～26日に鳥取県立鳥取西高校と合同でスタディツアーを実施しました。初日は鳥取西高校で相互に探究活動などのプレゼンテーションを行った後に鳥取砂丘に移動。砂丘の成り立ちや環境について学びました。2日目は岩美町の浦富海岸において、シーカヤックで地形や地質を、シュノーケリングで生物などを観察しました。さじアストロパークでは、天の川など視界いっぱいに広がる星空を、日付が変わっても観測し続けました。3日目は星の観測の振り返りを行い、午後からは鳥取大学乾燥地研究センターで講義を聞き施設を見学するなど乾燥地研究の最先端に触れることができました。山陰海岸ジオパークなどのフィールドワークを通じて、生物や地学や地理などの教科や科目の枠を越えた学びを実践し、同世代の仲間との交流の輪を広げました。

釧路湿原スタディツアー(8月17日～19日)

生態学学習の一環として、北海道 釧路湿原の自然観察を実施しました。参加者は生徒20名、職員3名です。ツアーに先駆けて開催された3回の事前学習会からツアー当日まで、釧路国際ウェットランドセンターの新庄久志氏、国連大学サステナビリティ高等研究所の柳谷牧子氏を講師としてお迎えし、生物多様性と生態系の保全について学びました。当日は天候に恵まれ、広大な湿原をじっくり観察することができました。ウェダー(胴長)を着用して湿原の沼地を進み、川でカヌーを漕ぎながら周囲の環境を観察するなどの体験を通して、湿原独自の生態系について理解し、その保全について深く考えることができました。



五色沼の色の不思議を調査する・鍾乳洞を探究する(8月21日～22日)



環境省の許可を得て、パークボランティアに同行していただき、五色沼10カ所で採水と観察を行いました。五色沼湖沼群は大変複雑な形成により沼毎に微妙に色が違いました。入水鍾乳洞ではヘッドライトを身につけ、冷たい流水中をザブザブと進み、垂れ下がる鍾乳石にぶつかったり、かがんでひよこのように歩いたりしました。あぶくま洞は大変大きな鍾乳洞で御殿や神殿のような空間があり、キラキラと光る鍾乳石は大変美しかったです。藪の中に入ったり、石に挟まれたごく狭い場所を蟹歩きで進んだりなどの困難もありましたが、くじけることなく果敢にチャレンジし、最後まで楽しんで探究しました。